

一般質問

どうするの 高い国保料



日本共産党議員団 山中 一志

問 国民健康保険特別会

計の26年度決算見込みと27年度の予算編成方針は。

答 決算見込みは、入院医療費が増加傾向にあり、一昨年の医療費と比べると、大きな伸びとなっています。

このような状況から非常に厳しい財政運営となっており、前年度の繰越金があるため、わずかながらの黒字見込みとなっていますが、26年度単年度収支においては赤字見込みです。

27年度の予算については、他の市町に比べ保健事業などの成果もあり、医療費の伸びは小さくなる見込んでいます。しかし、医療費の自然増加が国保特別会計を悪化させており、被保険者の保険料の負担が増えるように、基金の取り崩しを含め厳しい予算編成

の状況です。

問 27年度からはじまる保険財政共同安定化事業1円化で、1レセプト当たりの医療費が1円以上80万円未満へと拡大されるが、その影響は。

また、拠出超過となった場合は2号交付金で全額補填されるのか。

答 滋賀県の拠出金方式は、26年度までは20万円超80万円未満の医療費を対象に、拠出割合を医療費割50%、被保険者割30%、所得割20%として拠出金が計算されてお

り、25年度の拠出金は約8億5千万円です。27年度からは、法律の改正により80万円未満のすべての医療費を対象



困ったらまず相談

とすることになります。また、拠出割合は医療費割50%、被保険者割50%に改定されることになっていきます。

このため、27年度の拠出金見込額は大幅に増え23億4千万円であり、交付金は22億2千万円を見込んでいるため、1億2千万円の拠出超過となります。拠出超過額が交付金の1%を超過した場合、その超えた額が滋賀県特別調整交付金、いわゆる第2号交付金で財政支援されます。

疑問あり



日本共産党議員団 野田 清司

問 市民にとって、広報

ひがしおうみや議会だよりが果たす役割は大切である。

合併後8年間を比較すると、印刷料は入札で3分の1程度に大幅減額し改善したが、印刷部数は9年間変わっていない。

共産党議員団が発行している議会報告は、市内全世帯向け新聞折り込みで3万5350部であるが、市の折込部数は2千部余りも多い。

印刷料や折込料に影響するため、厳正に調査すべきだ。

答 折込部数は、各新聞販売店での配布部数に基づいて折込業者が把握している部数であり、適切と考えています。

しかし、全国的に新聞の購読者が減少する中、9年間同じでは市民から疑念が出る恐れもあるた

め精査します。

問 自治会配布にすれば、1100万円もの折込料を減らすことができ、その分を自治会への活動支援に回したり、高齢者の見守りにつなげるなどの利点もある。

近江八幡市や大津市、彦根市は自治会配布であり、市の調査では92%の自治会が配布しても良いと答えている。

26年度予算審議の時に自治会配布について調査するとの答弁もあったが、なぜしないのか。

答 月初めに開催される催しの案内や、申し込みが先着順の募集記事なども掲載しています。

そのため、毎月1日に市民の皆さんのお手元にお届けする必要がありますが、確実に一斉配布できる新聞折り込みが、最も適し

た方法であると考えています。

問 市や議会が支払う広告料は、近江八幡市と比べると市は17倍、議会は23倍も計上している。

その上、市の広告料総額の93%、議会の広告料総額の73%を市内地方新聞および、その関連会社に広告料として支出しているが、1社集中委託は問題では。

答 業務委託契約を締結し、契約に基づき適正に行っています。

地方新聞への委託は、市広報のページ数が限られる中、タイムリーに広報できることから、効果が大きいと考えています。

問 印刷・折り込み・広告料の見直しで、2千万円程の経費が捻出できる。

月2回発行を含め、広報紙の充実を図るべき。

答 27年度は月1回を継続しますが、ページ数を増やすことを検討していません。